



Q.大腸がんかも？

回答：市立貝塚病院

診療局参与・外科部長・化学療法センター長

奥山 正樹 医師



A 大腸がんの治療は、進行度により分かれていて、内視鏡治療、外科治療、抗がん剤治療、放射線治療、緩和治療があります。

が早く、早期に日常生活に戻れ、疼痛や違和感が少なく、体に優しいといわれる腹腔鏡下手術を積極的に行っていきます。

みから少しでも解放される治療ができればと思います。便に血が混じったり、検診で便潜血反応(+)の場合は、ぜひ相談にお越しください。

患者さんの症状や進行に応じて、すべての治療が可能な医療機関・病院は、

抗がん剤治療は、最近の進歩が著しく、切除できないような進行

問 市立貝塚病院
(貝塚市堀3-10-20)
Tel 072-42

泉州地域では数少ないのが現状です。

多職種のチームで患者さんに寄り添った医療を

http://www.hosp.kaizuk.a.osaka.jp/

市立貝塚病院では、それぞれの治療に専門のスタッフ(消化器・肝臓センター、化学療法センター、緩和ケアチーム)がいて、患者さんといっしょに適切な治療を考えています。外科治療では、回復

した大腸がんの生存期間の延長はもとより、以前は治らなかったものが治るようにもなっています。

★市立貝塚病院創立80周年記念第23回病院祭を開催します！
【日時】令和元年12月1日(日)10時～15時半(予定)
皆様お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

一人でも多くの患者さんが、早期発見・早期治療でがんを克服し、また、精神的苦痛や痛